

平成31年度 学校評価自己評価表

廿日市市立津田小学校

- 1 学校教育目標 『夢に向かいチャレンジする津田小の子』 ～自ら考え行動する子・自他を大切にできる子・元気にチャレンジする子～
- 2 ミッション 「夢に向かい諦めずに夢を育む児童の育成」をするために知・徳・体のバランスのとれた児童を育成する
- ビジョン 児童・教職員・保護者・地域が共に誇れる学校をめざす

評価計画					取組の方策			必要なアンケートの項目 チェックする時期と担当者など		
中期経営目標	短期経営目標	評価項目	担当	評価指標（目標値）	評価	具体的に、取組指標も入れる				
確かな学力（知）	・基礎、基本の力を身に付け、自ら学び、考え、表現する「確かな学力」を育む	◎基礎的・基本的な知識、技能の定着	1 1	・児童に確かな学力をつけている。	教務部	【市共通項目】 ・全国学力・学習状況調査（6年）、廿日市学力定着状況調査（4年）の国、算、（理）の問題で60%以上正答した児童の割合	66%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を生かし、課題を解決する授業を行う。 日常的に説明する（話す、書く）活動を取り入れる。 漢字、計算の音声学習を行う。 算数科の適用問題の正答率を把握し、授業改善に生かす。 	「全国学力・学習状況調査」調査結果（4月） 算数単元テスト「数学的な考え方」結果（7月、12月）
						45~65%	3			
						30~44%	2			
						30%未満	1			
						80%以上	4			
						70~79%	3			
						60~69%	2			
60%未満	1									
豊かな心（徳）	・生命を大切に思いやりを持って行動できる「豊かな心」を育む	○積極的な生徒指導を推進し、いじめ〇の学校をめざす。 ★自他の良さを認め合う、自己有用感の育成	2 1	・命を大切にし、自他を認めいじめを許さない、いじめをしない学校・学級集団になっている。	生徒指導部	・児童の肯定的評価（級友関係、規範意識関係、自己存在感関係項目）	90%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 帰りの会で全学年、週に3回は「いいことみつけ」を行い「今週の1枚」を放送・掲示する。学級全員が認められる機会を持てるように、席替え後に「ありがとうメッセージ」を贈るなど学級実態に合わせた取組をする。 アセスによる学級全体と個人の傾向を把握し、取組に役立てる。 面談週間をとることで、一人一人の児童と丁寧に話をしたり聞いたりする時間をもつ。 	児童アンケート（7月、12月） 「学校に友だちがいる」 「学級のみんなから認められている」 「津田小学校はいじめのない学校になっている」
						80~89%	3			
						70~79%	2			
						70%未満	1			
健やかな体（体）	・活力ある生活の基盤となる体力や運動能力を養い、「健やかな体」を育む	◎健康に対する意識を高め、活力ある生活の基盤となる体力や運動能力を育む	3 1	・自ら進んで体力づくりに取り組み、運動能力が向上している。	健康安全部	・体力づくりの取組の達成目標の到達度。跳躍力・握力における県平均以上の学級の割合（男女別）（体力テスト結果により変更の可能性あり）	8/12以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 体育の時間にハンドグリップを使った運動や跳躍力を伸ばす運動を取り入れたサーキットを継続的に取り入れる。 朝トレ（毎週金曜日）で跳躍力と握力を付ける運動に取り組む。 朝トレや掲示物および配布物を通して、いろいろな外遊びを紹介し、推奨する。 	・体力テスト（5月末）実施後、テスト結果を7月中旬までに集計・評価する。 ・課題のあった項目について再テスト週間（2月末）を設定し、伸びを評価する。
						6/12	3			
						4/12	2			
						2/12以下	1			
	・働き方改革に取り組むとともに、保護者・地域と連携し、信頼され、開かれた学校づくりを推進する	○歯科保健の実践を通して子どもの口腔環境を改善する	3 2	・家庭の協力を得て、積極的に歯みがきをする児童の姿が見られる。	学校評価委員会	・1日3回の歯みがきができる児童が70%以上（歯みがきカレンダー）	70%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 歯科受診の推奨（受診勧告を検診後と11月に配付） 歯みがきカレンダー（学期に1回2週間実施） 歯みがき指導（学級ごとに年1回実施、学級活動・自立の時間） 	・歯みがきカレンダーの結果から評価する（年3回）。
						60~69%	3			
						50~59%	2			
						50%未満	1			
信頼される学校	・働き方改革に取り組むとともに、保護者・地域と連携し、信頼され、開かれた学校づくりを推進する	○地域文化の伝承や歌声等の学校文化を創造し、発信する。	4 1	・地域学校協働本部の力をいただき、地域と共にあゆむ双方の授業を展開しようとしている。	校内衛生委員会	・地域を活用した授業後の児童アンケートによる肯定的評価の割合	80%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 活動調整会議を通して学校と地域の取組を共有する。 地域の文化や伝統等を学習に取り入れ、必要に応じて地域の人を招聘し、学習を進める。 地域の方々にお礼の手紙等、感謝の気持ちや学習した分かったこと等を伝える。 	児童アンケート 「地域の人に教えていただいたり、一緒に活動したりするのは楽しいですか。」 『津田のことについて、「もっと知りたい」、「調べてみたい」と思うことがありますか。』（3年生以上）
						70~79%	3			
						60~69%	2			
						60%未満	1			
						0%	4			
小中連携	・将来への夢や希望を持たせ、基礎的基本的な学力と基本的な生活習慣の向上を図り児童の自己肯定感・自己有用感を高める・自信と誇りを持った児童	◎家庭学習に自ら取り組む児童の育成	2 1	・児童が自ら進んで家庭学習に取り組む姿勢が身についている。	教務部会	・家庭学習の時間調査結果（各学年の設定目標時間のアンケート結果）	85%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習ステップアップ週間を学期に1回実施し、家庭での過ごし方を意識させ、保護者にも協力を得る。 「自学のすすめ」をもとに学習の仕方を指導し、自分で取り組む課題を週1回以上行わせる。（家庭学習の質をあげる） 既習事項がランダムに盛り込まれた家庭学習を行わせる。 	児童アンケート（7月、12月） 「学校がある日に、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。（宿題を含める）」 保護者アンケート 「子どもは学校があった日、家でも学年の目標時間以上勉強していますか。（宿題を含める）」
						80~84%	3			
						70~79%	2			
						70%未満	1			
	○マナーや規範意識の育成	2 2	・「さいきっ子ノート」にあるマナーや規範意識を守ろうとしている。	生徒指導部会	・児童の肯定的評価（「さいきっ子ノート」に書いてあることを守ろうとしている。） ・保護者と児童の肯定的評価（挨拶関係項目）	90%以上	4	<ul style="list-style-type: none"> 「さいきっ子ノート」を活用した共通指導と実態交流。 学期末に学校の決まりが守れているか自分を振り返らせる。 「あいさつ運動」の取組を継続して行う。 毎日縦割り班掃除にすることで掃除の仕方がより徹底するようにする。高学年にリーダーとしての自覚をもたせる。 自問清掃が徹底するように自問タイムを設け、確実に行わせる。 「掃除反省カード」を使って振り返りを行う。（チェック項目7のうち1つをリーダーが選んで班員に伝える。1つずつ確実に項目がクリアするようにする。） 	児童アンケート（7月、12月） 「出会った人に大きな声で挨拶をしている。」 保護者アンケート 「津田小学校の子どもは出会った人に元気に挨拶をしている。」 児童アンケート 「掃除を時間いっぱいがんばりにやっている。」 保護者アンケート 「津田小学校は掃除の行き届いた学校になっている。」 児童アンケート 「学校のきまりを守ろうとしている。」	
					80~89%	3				
					70~79%	2				
					70%未満	1				

◎重点項目 ★小中学校共通項目